

令和 7 年度

日 本 生 化 学 会 九 州 支 部 例 会
プログラム集



開催日： 令和7年 6 月 13 日(金)・14 日(土)

開催場所： 宮崎市民プラザ

例会長： 榊原 陽一

事務局

〒889-2192

宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1

宮崎大学 農学部 応用生命化学領域

日本生化学会 九州支部

令和 7 年度 日本生化学会九州支部例会

期 日： 令和 7 年 6 月 13 日(金) 11:30- 受付開始

14 日(土) -12:15 閉会

(※評議員会は 13:15 まで、生化学若い研究者の会は 16:00 まで)

会 場： 宮崎市民プラザ

〒880-0001 宮崎市橘通西 1 丁目 1 番 2 号

TEL: 0985-24-1008 FAX: 0985-29-2244



【アクセス】

橘通1丁目バス停から徒歩 3 分

飛行機をご利用の方：宮崎空港からバスで 25 分、タクシーで 20 分

鉄道等をご利用の方：宮崎駅・南宮崎駅からバスで 10 分、徒歩 30 分、タクシーで 10 分

※南宮崎駅の場合は宮交シティバスセンターへご移動ください。

参加費： 一般会員 3,000 円
 学生会員（博士・修士） 1,000 円
 学生会員（学部生） 無料
 非会員 4,000 円

懇親会費： 一般会員・非会員 5,000 円
 学生 2,500 円

※参加費・懇親会費の支払いは下記ウェブサイトをご参照ください

https://square.umin.ac.jp/kyuseika/re_reiwa7_v2.html

タイムテーブル：

		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
6月13日 (金)	会場1				受付開始 11:30-		開 会 式 14:45	シンポジウム 14:45-16:00	特別講演 16:15-17:15	奨励賞 授賞式 17:30-18:30		
	会場2				ポスター掲示 11:30-13:00	ポスター討論 13:00-14:30	撤去 -15:00					
											ホテルマイステイズ宮崎2F	懇親会 19:00-
6月14日 (土)	会場2	受付開始 9時から	一般講演1 O1 - O4 9:15-10:15	一般講演3 O9 - O12 10:30-11:30	閉会式 ポスター賞 表彰 11:45-12:15							
	会場3		一般講演2 O5 - O8 9:15-10:15	一般講演4 O13 - O16 10:30-11:30			生化学若い研究者の会 シンポジウム 12:30 - 16:00					
	会場4					評議員会 12:15-13:15						

懇親会：ホテルマイステイズ宮崎 2F

<https://www.mystays.com/location-hotel-mystays-miyazaki-miyazaki/>

※当日、奨励賞受賞講演後に詳細を説明します。

プログラム日程表

6月13日(金)

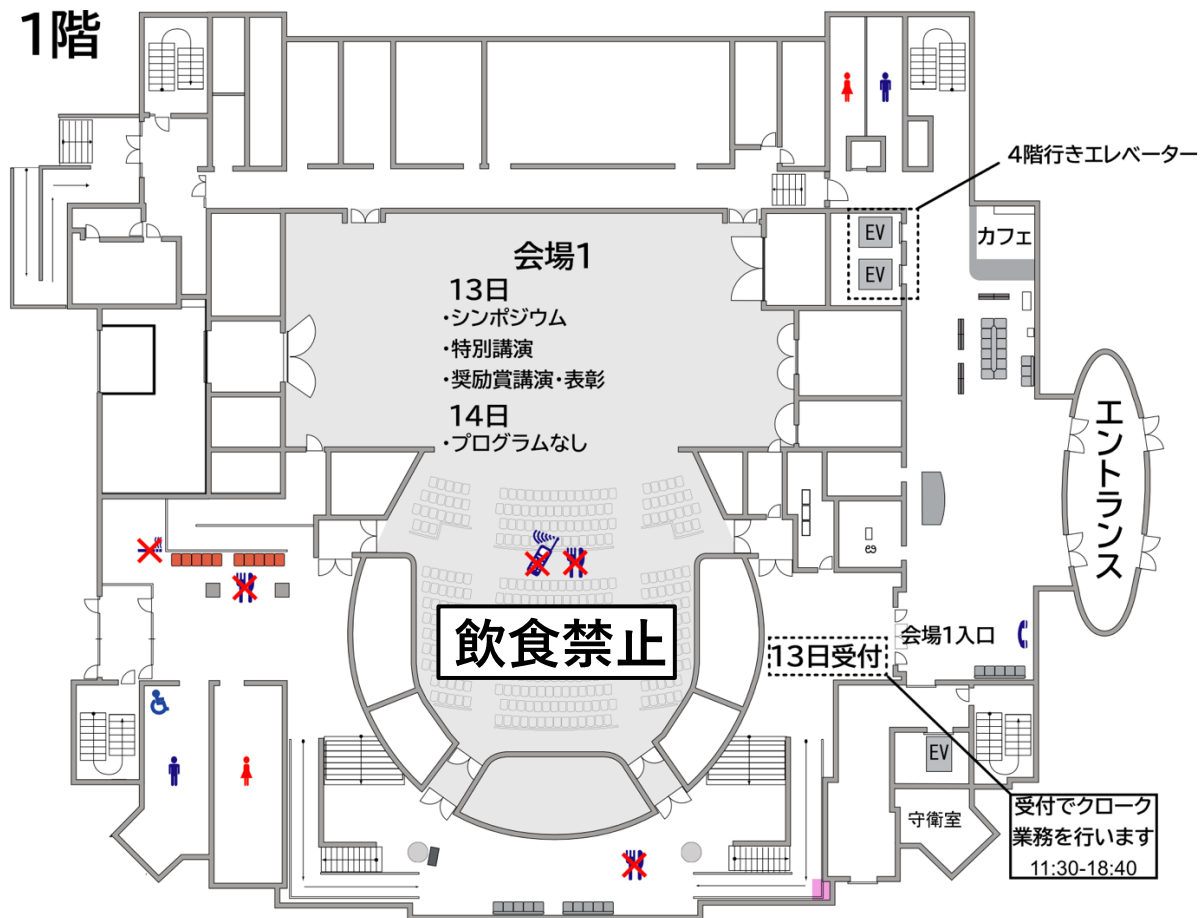
時間	内容	会場
11:30～	受付	会場 1 (1F オルブライトホール入口)
11:30～15:00	ポスター掲示可能時間	会場 2 (4F ギャラリー1)
13:00～14:30	ポスター発表	会場 2 (4F ギャラリー1)
14:30～14:40	休憩	
14:40～14:45	開会式	会場 1 (1F オルブライトホール)
14:45～16:00	シンポジウム	会場 1 (1F オルブライトホール)
16:00～16:15	休憩	
16:15～17:15	特別講演	会場 1 (1F オルブライトホール)
17:15～17:30	休憩	
17:30～18:30	受賞講演	会場 1 (1F オルブライトホール)
19:00～	懇親会	ホテルマイステイズ宮崎 2F レストラン

6月14日(土)

時間	内容	会場
9:00～	受付	会場 2 (4F ギャラリー1 入口)
9:15～10:15	口頭発表	会場 2 (4F ギャラリー1) 会場 3 (4F ギャラリー2)
10:15～10:30	休憩	
10:30～11:30	口頭発表	会場 2 (4F ギャラリー1) 会場 3 (4F ギャラリー2)
11:30～11:45	休憩	
11:45～12:15	ポスター賞表彰式・閉会式	会場 2 (4F ギャラリー1)
12:15～13:15	評議員会	評議員会会場 (4F 大会議室)
12:30～16:00	生化学若い研究者の会	会場 3 (4F ギャラリー2)

会場案内

1階



4階



ご案内

【受付】

- ・ 参加証と領収書の配布は、受付で行います。
 - 一日目(6/13) 11:30 ～ : 1F オルブライトホールの入り口 (会場 1)
 - 二日目(6/14) 9:00 ～ : 4F ギャラリー1 の入り口 (会場 2)

【特別講演・シンポジウム・受賞講演の演者の方へ】

- ・ 講演は、ご自身の PC を液晶プロジェクターに接続して頂き、PC 操作はご自身でお願いします。接続は HDMI のみですので、専用アダプターが必要な方はご持参ください。
- ・ 講演開始前の休憩時間に液晶プロジェクターに PC 接続をご確認下さい。

【一般講演の講演者の方へ】

- ・ 発表時間は討論、交代を含めて 15 分(発表 11 分、討論 3 分、交代 1 分)です。
- ・ 講演は、ご自身の PC を液晶プロジェクターに接続して頂き、PC 操作はご自身でお願いします。接続は HDMI のみですので、専用アダプターが必要な方はご持参ください。
- ・ 講演開始前の休憩時間に液晶プロジェクターに PC 接続をご確認下さい。
- ・ 前演者の講演が始まりましたら、次演者席で待機願います。
- ・ PC トラブルなどに備えて、ご発表ファイルを USB(ウイルスチェック済)でもご持参ください。
- ・ どうしてもご自身の PC をご用意できない方は、前日までに事務局へご連絡下さい。

【座長の方へ】

- ・ 各セッションの 10 分前までに会場にお越しください。時間厳守とともに、討論が活発になりますよう司会進行をお願い致します。

【ポスター発表の方へ】

- ・ 展示場所: 会場2(4階ギャラリー1)
- ・ 展示開始: 6 月 13 日(金)13:00 までをお願いします。
- ・ 説明・討論: 6 月 13 日(金)13:00 ～ 14:30
奇数偶数のコアタイム区別はありませんので、この時間帯に全員ご発表ください。
- ・ 必ず 13 日(金)15:00 までに撤去をお願いします。翌 14 日(土)は口頭発表会場となるため、残ったポスターは事務局で撤去いたします。
- ・ パネルサイズは横 120 cm x 縦 200 cm です。このサイズ内でポスターの作成をお願い致します(推奨サイズは A0、841 mm x 1189mm)。ポスターパネルの左上に演題番号が貼付してあります。ポスター上部に演題名、発表者名(講演者の左肩に○印)、所属を記入して下さい。文字などは 1.5 m 程度離れた位置からでも読める大きさにして下さい。優秀ポスター賞希望の演題は、演題番号を赤色で示しています。

【クローク】

- ・ 6 月 13 日(金)11:30 ～ 18:40、6 月 14 日(土)9:00 ～ 12:30 に、受付（14 日はクローク受付）で荷物をお預かり致します。ただし、貴重品や壊れものについてはお預かり致しかねます。また、6 月 13 日(金)は 18:40 までに一旦荷物をお引き取り願います。

【懇親会会場】

- ・ ホテルマイステイズ宮崎2階レストラン
- ・ 6 月 13 日(金)の奨励賞受賞講演・授賞式が終了次第、会場へ移動して下さい。

【その他】

- ・ 発表・講演中のビデオ・写真撮影、録音（スマートフォンを含む）は、厳にご遠慮ください。
- ・ 会場 1 の 1F オルブライトホール内での飲食は出来ませんのでご注意ください。
- ・ 会場内では、必ずネームカードをご着用ください。
- ・ 会場内では、携帯電話等の音を出さないようにお願いします。
- ・ 会場内での呼び出しは行いません。

講演プログラム

シンポジウム

6月13日(金) 14:45 ~ 16:00 会場 1 (1階オルブライトホール)

現代を健康に生きる：代謝・ストレス・老化の生化学

座長：武谷立(宮崎大学)、西山功一(宮崎大学)

14:45 S1 ケトン体代謝を介した糖・脂肪酸代謝制御機構

有馬勇一郎(熊大・国際先端医学研究機構・心臓発生研究室)

15:10 S2 小胞体ストレス依存的翻訳時分解によるタンパク質品質管理機構

門脇寿枝(宮大・医・機能生化学)

15:35 S3 細胞膜損傷と老化

河野恵子(OIST・膜生物)

特別講演

6月13日(金) 16:15 ~ 17:15 会場 1

座長：榊原陽一(宮崎大学)

L 超硫黄分子によるレドックス代謝と疾病制御

赤池孝章(東北大・院医・レドックス分子医学)

令和6年度日本生化学会九州支部学術奨励賞 授賞式・受賞講演

6月13日(金) 17:30 ~ 18:30 会場 1

座長：杉本幸彦(熊本大学)

AW1 プロスタグランジン受容体による病態生理の調節機構

稲住知明(熊大院・生命科学・薬学生化学分野)

座長：西頭英起(宮崎大学)

AW2 小胞体膜タンパク質が制御する成体神経幹細胞の恒常性維持機構の解明

村尾直哉(宮大・医・機能生化学分野)

一般講演(口頭発表)プログラム

6月14日(土) 9:15 ~ 10:15

一般講演1 会場2 (4階ギャラリー1)

座長: 錦織充広 (福岡大学) ・ 花田保之 (宮崎大学)

- 9:15 O1 大腸菌の細胞周期統括因子 IHF 動態の糖代謝と共役した制御**
○加生 和寿¹、里村 龍音¹、吉田 瑞希¹、中藺 奨¹、中垣 渉¹、片山 勉¹
¹九州大学・大学院薬学研究院・分子生物薬学分野
- 9:30 O2 大腸菌の染色体複製開始における DnaB ヘリカーゼ装着阻害をレスキューする PriC バイパス機構の解析**
○呉 沁霏¹、吉田 竜星¹、尾崎 省吾¹、片山 勉¹
¹九州大学・院薬・分子生物
- 9:45 O3 「光照射によるアゾベンゼン複合短鎖エラスチン様ペプチドの可逆的自己集合の制御」**
○巢山慶太郎^{1,2}、Elissa Mai²、根木あぐり²、前田衣織³、野瀬 健^{1,2}
¹九州大・基幹教育院、²九州大・院理・化学、³九工大・情報工学研究院
- 10:00 O4 NADP 非結合型シトクロム P450 還元酵素の調製と結晶化**
○杉島正一¹、丸川正貴²、元山祐美子²、和田 啓²、山本 健¹
¹久留米大・医・医化学、²宮大・医

一般講演2 会場3 (4階ギャラリー2)

座長： 関原和正（宮崎大学） ・ 村尾直哉（宮崎大学）

9:15 O5 自己脂質の認識を介した免疫抑制機構の解析

○石塚茂宜^{1,2}、三宅靖延¹、吉田裕樹¹、山崎晶^{2,3}

¹佐賀大・医・免疫、²阪大・RIMD/IFReC・分子免疫、³阪大・CiDER

9:30 O6 ポリスルフィド化合物の抗炎症作用とマクロファージへの送達

○新留琢郎¹、伊藤 翼²、徐 薇¹、澤 智裕³

¹熊大院・先端科学・医工学、²熊大院・自然科学・応化、

³熊大院・生命科学・微生物学

9:45 O7 カテキン類による SARS-CoV-2 スパイクタンパク質と ACE2 の相互作用の強力な阻害には非エピ型かつ B 環ピロガロール型構造が重要である

○松本芙葉¹、永井里苗¹、池田菜々子²、石丸幹二^{1,2}、光武進^{1,2}

¹佐賀大院・先進健康、²佐賀大・農

10:00 O8 寄生原虫“赤痢アメーバ”の脂肪酸伸長サイクル第一酵素を標的とした抗アメーバ赤痢薬リードの提供

○見市文香^{1,2}、津川裕司^{3,4}、Tam Kha Vo^{1,2}、栗崎優斗³、吉田裕樹²、有田誠^{4,5,6}

¹長崎大・熱研・共同研、²佐賀大・医・免疫学、³東農工大・院工・システムバイオロジー、⁴理研・IMS・メタボローム、⁵横市大・院生命医・代謝エピゲノム、⁶慶応大・院薬・代謝生理学

6月14日(土) 10:30 ~ 11:30

一般講演3 会場2 (4階ギャラリー1)

座長: 巢山慶太郎 (九州大学) ・ 加生和寿 (九州大学)

- 10:30 O9 **ミトコンドリア内膜タンパク質 PHB による膜融合の調節**
○錦織充広¹、伴匡人²、小柴琢己¹
¹福岡大・理・地球圏科学、²久留米大・医・医療検査学
- 10:45 O10 **ラットヘムオキシゲナーゼ-1 の小胞体膜からの遊離に関する細胞内プロテアーゼの予測と評価**
○山根慎平¹、杉島正一²、坂本 寛¹、平 順一¹
¹九工大・院情報工・生命化学、²久留米大・医・医化学
- 11:00 O11 **血管基底膜形成を介した血管周囲基質の硬さによる血管新生の制御機序**
○花田保之^{1,2}、Semanti Halder¹、小河穂波¹、有馬勇一郎³、植村明嘉⁴、室原豊明²、西山功一¹
¹宮大医・血管動態生化、²名大医・循環器内科、³熊大・IRCMS、⁴名市大医・眼科
- 11:15 O12 **Endothelial cell-pericyte interaction facilitates angiogenesis by Type 4 collagen vascular basement membrane formation via the Notch-TGFβ2 signalling.**
○Halder Semanti¹, Yasuyuki Hanada¹, Honami Ogo¹, Yuka Ozeki¹, Kasi Vishnuvardhinidutt¹, Katarzyna Anna Inoue², Miho Kobayashi², Tetsuro Watabe², Akiyoshi Uemura³, Koichi Nishiyama¹
¹Lab. for Vasc. and Cell. Dyn., Fac. of Medicine, Univ. of Miyazaki, ²Dept. of Biochem., Grad. Sch. of Med. and Dent. Sci., Tokyo Med. and Dent. Univ.
³Dept. of Retinal Vasc. Biol., Nagoya City Univ. Grad. Sch. of Med. Sci.

一般講演4 会場3 (4階ギャラリー2)

座長：石塚茂宜（佐賀大学）・見市文香（長崎大学）

10:30 O13 がん微小環境の対話ツール:シアルル Tn 糖鎖抗原

久鍋奈海¹、森岡海人¹、長尾恵介¹、前田賢人¹、○大坪和明^{1, 2}

¹熊大・院保健・生体分子制御、²熊大・院生命・生体情報研究セ

10:45 O14 重粒子線照射と分子標的薬による甲状腺未分化癌治療の新規治療戦略

○関原和正^{1, 2, 3}、氷室秀知⁴、平山亮一⁵、笹田哲朗⁴、武谷立¹、
星野大輔^{2, 3}

¹宮大・医・薬理、²神奈川がんセ・臨床研・がん生物、³神奈川がんセ・
生体試料、⁴神奈川がんセ・臨床研・がん免疫、⁵量研・QST・重粒子

11:00 O15 環状一本鎖抗体を構成部品とした二重特異性 T 細胞誘導抗体の *in vivo* 抗腫瘍活性評価

○土居 洸士朗¹、永田 貴子²、富名腰 義基¹、加藤 雅也²、荒巻
龍朗¹、白仁田 咲陽¹、羽藤 喬道¹、Prin Sungwan³、亀澤 世奈²、佐藤
卓史²、小橋川 敬博²、岡田 誠治⁴、森岡 弘志²

¹熊大薬、²熊大院薬、³熊大院医、
⁴熊大ヒトレトロウイルス学共同研究センター

11:15 O16 抗体間距離が二重特異性 T 細胞誘導抗体の細胞障害活性に与える影響の評価

○荒巻龍朗¹、土居洸士朗¹、永田貴子²、富名腰義基¹、加藤雅也²、羽藤
喬道¹、白仁田咲陽¹、Sungwan Prin³、亀澤世奈²、佐藤卓史²、小橋川敬博
²、岡田誠治⁴、森岡弘志²

¹熊大薬、²熊大院薬、³熊大院医、
⁴熊大・ヒトレトロウイルス学共同研究センター

一般講演(ポスター発表)プログラム

6月13日(金) 13:00 ~ 14:30

会場2 (4階ギャラリー1)

*: ポスター賞候補演題

P1* 先天性免疫不全症患者由来 C/EBP ϵ 変異の分子機能の解析

○田丸智哉¹、上田篤²、Aaqib Zaffar Banday³、和田泰三⁴、金兼弘和⁵、
赤木紀之¹

¹福工大・院工・生環、²東海大・医・法医、³GMC Srinagar, Pediatrics, India、

⁴金沢大・医・小児科、⁵東京科学大・院・小児地域成育医療)

P2 4-オクチルイタコン酸による抗酸化防御破綻とミトコンドリア障害を介したメラノーマ増殖抑制機構の解明

○佐伯彩華¹、林慶和^{1,2,3}、吉本尚平^{3,4}、平田雅人³、安河内篤⁵、南健斗¹、
自見英治郎^{1,6}、安河内(川久保)友世¹

¹九大・院歯・OBTセ、²福歯大・機能構造、³福歯大・口腔医学セ、⁴福歯大・病
態構造、⁵九大・院歯・顎顔面腫瘍制御、⁶九大・院歯・口腔細胞工

P3* 細菌天然物の機能修飾を担う硫酸転移酵素の分子機構解明

○渡邊観世¹、岩本祐香¹、河野海斗¹、鈴木凱登¹、矢崎雅菜¹、有澤美枝子¹、
五十嵐雅之²、寺本岳大¹、西本悦子¹、角田佳充¹

¹九大・院生物資源環境科学 ²微生物化学研究所

P4* エネルギー制限下における果糖ぶどう糖液糖過剰摂取による壮年期女性の耐糖能機能への影響

○中田彩斗¹、日高芽衣¹、服部秀美¹

¹宮大院・農・応生

P5* マダニ抗血液凝固蛋白質マダニンの活性化機構

○浅野陽来¹、吉村美沙¹、寺本岳大¹、岩本祐香¹、近藤真梨子¹、西本悦子¹、
角田佳充¹

¹九大院 生資環

P6* 無酸素チャンバーを利用したアセトアミノフェン比色反応における分子状酸素の寄与の解明

○丸川正貴¹、新川慶明¹、総田紀子¹、元山祐美子¹、内野麻里¹、湯川修弘¹、
和田啓^{1,2}

¹宮崎大・医、²宮崎大・フロンティア

P7* シロイヌナズナ硫酸転移酵素 SOT15 による 12-ヒドロキシジャスモン酸硫酸化の構造基盤

○大久保信宏¹, 平田理桜¹, 和泉健太¹, 寺本岳大¹, 角田佳充¹

¹九州大学大学院・生物資源環境科学府・生物物理化学研究室

P8* 細菌莢膜多糖合成酵素の基質特異性の構造基盤

○前田憲人¹, 坂本七彩¹, 豊田滉太¹, 平島正人¹, 寺本岳大¹, 角田佳充¹

¹九州大学大学院 生物資源環境科学府

P9* 植物 RNA 編集酵素 PPR-DYW の機能・構造解析

○漆原良太¹, 寺本岳大¹, 青山玲也¹, 岡田あゆみ¹, Bernard Gutmann²,
一瀬 瑞穂², 八木祐介², 中村崇裕¹, 角田佳充¹

¹九大院・生資環、²エディトフォース株式会社

P10* 新規 6-Acyl-Glucosylceramide はマクロファージ誘導性 C 型レクチン受容体 (Mincle) を強く活性化する

○木野村菜々美¹, 濱福幸奈¹, 宮坂賢知³, 下田博司³, 森川敏生^{4, 5},
石塚茂宜⁶, 山崎晶⁷, 五十嵐靖之⁸, 光武進^{1, 2}

¹佐賀大・先進健康、²佐賀大・農、³オリザ油化(株)、⁴近畿大・薬学総合研究所、⁵近畿大・アンチエイジングセンター、⁶佐賀大・医、⁷大阪大・微研、
⁸北大院・先端生命

P11* マクロファージはメバロン酸代謝経路の抑制を介して炎症刺激を記憶する

○洪性賢¹, 古賀友紹¹, 船蔵直史^{1, 2}, 稲住知明³, 杉本幸彦³, 中尾光善¹

¹熊大・発生研・細医、²熊大・院生命・眼、³熊大・院生命・薬生化

P12* An investigation into the effects of substituting L-amino acids for D-amino acids on the temperature-responsive self-assembly ability of elastin-like peptides (FPGVG)₅

○Elissa Mai¹, Keitaro Suyama^{1, 2}, Takeru Nose^{1, 2}

¹Department of Chemistry, Faculty and Graduate School of Science, Kyushu University,

²Faculty of Arts and Science, Kyushu University

P13* 肝脂肪酸合成における Id4 の役割

○木下航志^{1, 2}, 林慶和^{1, 3, 4}, 佐伯彩華¹, 高橋一郎², 自見英治郎^{1, 5},
安河内(川久保)友世¹

¹九大・院歯・OBT 研究セ、²九大・院歯・歯科矯正、³福歯大・機能構造、

⁴福歯大・口腔医学研究セ、⁵九大・院歯・口腔細胞工学

P14* ω3/ω6比を高めた脂肪酸摂取が中枢機能に与える影響

○桑野晃希¹、小牧草太¹、橋本(岩崎)美穂¹、吉田莉奈¹、稲住知明¹、杉本聡子¹、
土屋創健¹、可野邦行²、青木淳賢²、河合喬文³、岡村康司³、杉本幸彦¹
¹熊本大・院薬、²東京大・院薬、³大阪大・院医

P15* 子宮内膜の脱落膜化を誘導するプロスタグランジン受容体の同定

○中山温¹、坂本理紗¹、藍川志津²、稲住知明¹、橋本美穂¹、杉本聡子¹、
土屋創健¹、中尾聡宏³、竹尾透³、廣田泰²、杉本幸彦¹
¹熊本大・薬、²東京大・医、³熊本大・医

P16* エストロゲン関連受容体 γ 型(ERγ)によるアンドロゲン受容体(AR)転写活性の抑制機構の解明

○古賀海成¹、JIN YUE²、宮城円佳²、松尾美空²、長濱一弘^{1,2}、劉 曉輝^{1,2}
¹崇城大・院工・応微、²崇城大・生物生命

P17* 植物における C-to-U 型 RNA 編集酵素の相互作用メカニズム解明

○丸野泰央¹、寺本岳大¹、漆原良太¹、角田佳充¹
¹九大・院・生物資源環境科学府

P18* 酸化リン脂質受容 GPCR の同定と機能解析

○小櫻英翔¹、上野亮哉¹、岩本竜弥¹、加藤俊治²、仲川清隆²、森本和志¹、
阿部真紗美¹、Lerksaipheng Pakawit¹、Jutanom Mirinthorn¹、山田健一¹
¹九大・院薬・分子病態、²東北大・院農・食品機能分析

P19* タンパク質分解を可視化する OFF-ON-OFF 型蛍光プローブの開発

○太田航司郎¹、Jingchi Gao²、菊地和也^{2,3}、堀雄一郎¹
¹九大・理・化、²阪大・工・応化、³阪大・免フロ

P20 植物葉の表在微生物が生産するルミノール発光原因タンパク質の探索

○元山祐美子¹、橘未羽¹、丸川正貴¹、野間貫太¹、内田丈聖¹、水元幹太¹、総田
紀子¹、新川慶明¹、柿崎英二¹、園田愛¹、湯川修弘¹、和田 啓^{1,2}
¹宮崎大・医・医、²宮崎大・フロンティア

P21* All-trans-retinoic acid による NK 細胞を介した老化細胞除去効果

○小野 遥唯¹、竹下 優香¹、江藤 望²
¹宮崎大・院農・応生、²宮崎大・農

P22* フォルミン Fhod1 の自己抑制とそのリン酸化依存的活性化に関する構造的洞察

○Mokhamad Fahmi Rizki Syaban¹、鹿毛陽子¹、武谷立¹
¹宮大・医・薬理

- P23* 老化細胞移植モデルに対するブルーベリー葉・茎抽出物の身体機能改善効果**
○老川麻菜¹、小林司¹、吉田周平²、守田成志³、菅本和寛⁴、國武久登¹、江藤望¹
¹宮大・農、²宮大・院農、³宮大・院工、⁴宮大・工
- P24* リソソームにおける脂質過酸化を起点としたフェロトーシス実行機構と膜修復過程の解析**
○福山翔太¹、斎元祐真¹、陣内優佳¹、森本和志¹、阿部真紗美¹、Pakawit Lerksaipheng¹、唐澤悟²、平山祐³、Jutanom Mirinthorn¹、山田健一¹
¹九大・院薬・分子病態、²昭和薬大・薬品分析、³岐阜薬大・薬化学
- P25* ヘム分解系酵素による複合体形成を利用した FRET ヘムセンサーの開発**
○加藤恆¹、宮原颯人¹、中野智敬¹、楠本朋一郎¹、杉島正一²、平順一¹、坂本寛¹
¹九工大・院情報工・生命化学、²久留米大・医・医化学
- P26* 大腸菌発現系における小型抗体可溶化の試み**
○矢作浩太郎¹、森尚寛¹、豊田滉太¹、西本悦子¹、寺本岳大¹、角田佳充¹
¹九大・院生物資源環境科学府・生命機能化学
- P27* 核内受容体を活性化する酸化リン脂質の探索**
○小副川理¹、森本和志¹、小櫻英翔¹、Lerksaipheng Pakawit¹、阿部真紗美¹、Jutanom Mirinthorn¹、山田健一¹
¹九大・院薬・分子病態
- P28* 糖鎖修飾金ナノ粒子を用いた細胞表層糖鎖受容体の結合性解析**
○黒木悠里¹、若尾雅広¹、新地浩之¹
¹鹿児島大・院理工
- P29* 金ナノ粒子を用いたタンパク質抗原・アジュバント一体型ナノワクチンの構築**
○村田光紀¹、竹市竜司¹、早川尚宏¹、若尾雅広¹、新地浩之¹
¹鹿児島大・院理工
- P30* 慢性ストレス誘導性全身糖代謝異常における小脳室頂核の重要性**
○石本太我¹、吉田楓²、高月真彩留¹、梶谷直人¹、竹内雄一²、近藤邦生³、竹林実¹、戸田知得¹
¹熊大・院生命科学、²近大・薬、³鳥大・医
- P31* 感染性 SARS-CoV-2 の複製効率を高める宿主性因子の探索**
○佐々木 駿介¹、岸本 直樹¹、高宗 暢暁²、三隅 将吾¹
¹熊大院・薬・環境分子保健学分野、²熊本大学研究開発戦略本部

- P32* モヤモヤ病関連遺伝子 RNF213 の欠失が細胞接着に及ぼす影響の解析**
○高見華恵^{1,2}、田上愛祐美^{1,2}、蒲原敦子²、松尾宗明²、辻田忠志^{1,2}
¹佐大・農・生化、²佐大院・先進健康、³佐大・医・小児
- P33* 大腸菌外膜タンパク質輸送装置サブユニット BamC は L-form での生育に必要である**
○Farheenara Abedin¹、丸野友希²、和田花佳³、塩田拓也⁴
¹VIT・Dept. BioTech、²宮大・農工院、³宮大・医獣医、⁴宮大・フロンティア
- P34* *Heterosigma akashiwo* ウイルス(HaV)感染評価系の確立**
○水元幹太¹、元山祐美子²、丸川正貴²、高橋迪子³、森本大地³、船岳祐作³、
総田紀子²、内田丈聖¹、永田さやか⁴、長崎慶三³、和田啓²
¹宮崎大・院医獣、²宮崎大・医、³高知大・農林海洋科学、⁴南九州大・健康栄養
- P35* シアリル Tn 糖鎖抗原が駆動するがん細胞の酸化ストレス耐性機構**
○善明慶裕¹、橋本華奈子¹、前田賢人¹、田崎雅義²、大坪和明^{1,3}
¹熊大・院保健・生体分子制御、²熊大・院生命・臨床分析、
³熊大・院生命・生体分子制御
- P36* アドレナリン酸化代謝物のスルホン化に関する研究**
○内満翔太¹、黒木勝久¹、榊原陽一¹
¹宮大・院農・応生
- P37* Sulfonation of Vitamin B6 by Human SULT1A2: Enzymatic Characterization, Structural Insight, and Physiological Relevance**
○Risav Banerjee¹, Sakura Sakamoto², Takamasa Teramoto², Yoshimitsu Kakuta², Katsuhisa Kurogi¹, and Yoichi Sakakibara¹
¹Dept of Biochem Appl Biosci, Facult of Agric, Univ Miyazaki, ² Dept of Biosci Biotechnol, Grad Sch of Bioresour Bioenviron Sci, Kyushu Univ.
- P38 ペプチドを用いた細胞内送達と膜修復**
栗山理志¹、川口祥正¹、広瀬久昭¹、○二木史朗^{1,2}
¹京大・化研、²京大・院薬
- P39* 超硫黄分子が関与する鉄硫黄クラスターの生合成: SufBC コア複合体の結晶構造解析**
○内田丈聖¹、辻実怜²、元山祐美子³、総田紀子³、丸川正貴³、水元幹太¹、
橘未羽³、横山武司²、田中良和²、和田啓^{1,3}
¹宮崎大・院医獣、²東北大・生命科学、³宮崎大・医

- P40*** 細胞質硫酸転移酵素によるチロシン含有ジペプチドの新規代謝機構
○清松和飛¹、黒木勝久¹、榊原陽一¹
¹宮大・院農・応生
- P41** エストロゲン受容体 α 型に対する新世代ビスフェノール作用機作解明のための
N 端ドメイン・NTD の欠損解析
○劉 曉輝¹、杉本義仁¹、長濱一弘¹、下東美樹²、下東康幸^{2,3}
¹崇城大・生物生命、²リスクサイエンス研、³九州大・院理
- P42** ジカウイルスの卵巣感染に関する研究
○今川稔文¹、田中一雄²、伊藤昌彦³、高林秀次²、小杉伊三夫³、鈴木哲朗³
¹長崎大・院医歯薬、²浜医大・光医研、³浜医大・院医
- P43*** 日常薬品による蛇毒タンパク質の失活処理に関する実証研究
○北里啓太郎¹、山本練¹、赤星壮明²、坂井宏成²、倉岡功¹、塩井(青木)成留実²
¹福大大学院・理・化学、²帝京大学・福岡医療技術学部
- P44*** 毒を制す蛇由来阻害因子:CRISP 毒素認識分子 SSP-2 の機能的特性と再構築
○中村一馬¹、北里啓太郎¹、倉岡功¹、塩井(青木)成留実²
¹福大大学院・理・化学、²帝京大学・福岡医療技術学部
- P45*** 毒素結合性低分子タンパク質 SSP-3 および SSP-4 の可溶性発現系の確立と
構造機能解析
○菅沼優¹、山本練¹、倉岡功¹、塩井(青木)成留実²
¹福大大学院・理・化学、²帝京大学・福岡医療技術学部
- P46*** 進化する毒耐性:毒ヘビ血清中フェツイン様タンパク質の構造と機能の多様性
○山本練¹、北里啓太郎¹、倉岡功¹、塩井(青木)成留実²
¹福大大学院・理・化学、²帝京大学・福岡医療技術学部
- P47*** アンドロゲン受容体活性評価試験系の構築
○金崎康平¹、中村圭太¹、小野原永遠¹、松島綾美¹
¹九大・院理・化学
- P48*** アンジオテンシン変換酵素 2 のチロシン硫酸化部位の解明
○大山優太¹、出向みほ¹、黒木勝久¹、榊原陽一¹
¹宮崎大学・院農・応生
- P49*** 有害環境化学物質ビスフェノール誘導体は胎仔マウスの遺伝子発現へ影響を与える
○梶山尊¹、白根共太¹、荒巻光汰¹、松島綾美¹
¹九大・理・化学

- P50* Dapagliflozin alleviate ferroptosis in cardiomyocyte through inhibition of IFN- γ**
 ○Rizki Radhitya MENALDI¹, Harishkumar MADHYASTHA¹, Radha MADHYASTHA¹, Sowmiya BABU¹, Yuichi NAKAJIMA¹, Nozomi WATANABE¹
¹Department of Cardiovascular Physiology, University of Miyazaki, Japan
- P51* NLRP3 activation in cardiomyocytes by muscarinic acetylcholine receptor Cholinergic system is inhibited by secoisolariciresinol diglucoside**
 ○Sowmiya BABU¹, Radha MADHYASTHA¹, Harishkumar MADHYASTHA¹, Rizki Radhitya MENALDI¹, Yuichi NAKAJIMA¹, Nozomi WATANABE¹
¹Department of Cardiovascular Physiology, University of Miyazaki Faculty of Medicine, Miyazaki, Japan.
- P52* Upregulated Igf2 level during immortalization in mouse embryonic fibroblast under *Parp1* deficiency possibly contributes to tumorigenesis**
 ○Barkha Saraswat¹, Hideki Ogino¹, Ankitha Vadi Velu¹, Haoyang Zhu, Ying Tong¹, Mitsuko Masutani¹
¹長崎大・院医歯薬・分子標的医学分野
- P53 遠位カルボキシ基のプロトン化状態による鉄硫黄クラスター酸化還元電位のスイッチ機構**
 ○和田啓^{1,2}、三島正規³、永江峰幸⁴、丸川正貴¹、総田紀子¹、元山祐美子¹、井上謙吾⁵、杉島正一⁶、北河康隆⁷、海野昌喜⁸
¹宮崎大・医・医、²宮崎大・フロンティア、³東京薬科大・薬、⁴学習院大・理・生命科学、⁵宮崎大・農・応生、⁶久留米大・医・医、⁷阪大・院基礎工・物質創成、⁸茨城大・院理工・量子線科学)
- P54* Mediator Complex as a Target of Cancer Therapy**
 ○Sailakshmi Iyer¹, Naoko Hattori¹, Takeya Nakagawa¹, Takashi Ito¹,
¹Department of Biochemistry, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan